

～編集後記～

『ヒューマン・セキュリティ』第13号では、2022年2月24日に始まったロシアのウクライナ侵攻への国際社会の対応を中心に据えつつ、インド太平洋の動向にも目を向けるだけでなく、本学の全学的な取り組みであった東京五輪に関する内容を反映させました。東海大学平和戦略国際研究所は、長年にわたって人間の安全保障の立場から、「世界平和の研究」を続けてまいりました。第13号は、気鋭の研究者による研究論文と対談集を取り纏めた「世界平和の研究」の、いわば「集合知」とも言える内容に仕上がったと自負しております。

読者の皆様には、是非とも忌憚のないご意見とご批判を頂けると幸いです。

平和戦略国際研究所 運営委員

和田 龍太



## 東海大学平和戦略国際研究所 (SPIRIT) について (Strategic Peace & International Affairs Research Institute)

学校法人東海大学平和戦略国際研究所は、国際平和の推進に向けた戦略を提示する目的で1986年に設立された。冷戦下ではスウェーデン・ストックホルム国際平和研究所の「SIPRI年鑑」の日本語版発行に貢献したほか、旧ソ連圏とも幅広い連携を持ちつつ、本学の重要な対外戦略・方針の策定に寄与した。

その後1990年代半ばからは、新しい安全保障の概念である「人間の安全保障」を研究計画の主軸ととらえて、新時代の要請に対応するようになった。特に冷戦後の国際問題に関してヒューマン・セキュリティの視点から取組み、本研究所の所報も改称するとともに、活発な学術研究・政策提言を推進している。

なかでも本研究所は、ケンブリッジ大学キングス・カレッジの歴史経済センター、ハーバード大学人口・開発問題研究所などが中心となって設立されたコモン・セキュリティ・フォーラム (CSF) に1993年からいち早く参加した。そして、94年度以降、共通の安全保障、アジアにおける共通の価値と政府開発援助などをテーマとした国際シンポジウムを開催し、和英文出版物を数多く刊行している近年では、1998年に『テロリズム—変貌するテロと人間の安全保障』(増補版は2001年)を出版した他、2001年には国際シンポジウム「ドラッグの脅威と人間の安全保障」を開催し、その研究成果として2003年、『ドラッガー 新しい脅威と人間の安全保障』を上梓した。いずれも国内において学術研究が手薄な分野である。2005年には『21世紀の人間の安全保障』を日英2か国語で出版。2016年の活動再開後も、内外の研究所・研究者と緊密な連携を図りつつ、人びとにとっての新しい脅威を分析し、実践的な研究視点を提示する任務を果たしている。

### ● Human Security 編集委員会

委員長	末延 吉正	東海大学平和戦略国際研究所 所長 東海大学政治経済学部政治学科 教授
委員	西田 竜也	東海大学平和戦略国際研究所 次長 東海大学政治経済学部 学部長 東海大学政治経済学部政治学科 教授
	岡田 工	東海大学平和戦略国際研究所 運営委員 東海大学理系教育センター 教授 東海大学ユニバーシティビューローシニアマネージャー
	藤巻 裕之	東海大学平和戦略国際研究所 運営委員 東海大学政治経済学部政治学科 学科長 東海大学政治経済学部政治学科 教授
	和田 龍太	東海大学平和戦略国際研究所 運営委員 東海大学国際学部国際学科 准教授

---

Human Security No.13 2022/2023

2023年3月31日発行

編集者 Human Security 編集委員会

発行者 東海大学平和戦略国際研究所  
〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

発行所 港北メディアサービス株式会社